

平成18年 ホッケ計量魚群探知機調査報告

北海道立稚内水産試験場資源管理部 電話：0162-32-7166

- 5月8～11日に仙法志堆海域（利尻根・折込根周辺）において、試験調査船北洋丸により計量魚群探知機調査を実施し、音響データを収集しました。
- 表面から50mまでの水温は、利尻根では6.0～7.7℃、折込根では6.1～7.9℃でした（図1）。昨年とほぼ同じ時期と比べて、底層の水温が低く、特に利尻根では20m以深で約0.4～0.7℃低い値でした。
- 計量魚群探知機によって推定されたホッケ以外の魚を含めた魚群の全体量は、折込根では昨年の約30分の1で過去最小の値でした（図2）。利尻根でも昨年の約7割程度の値でした。
- 利尻根・折込根それぞれで釣獲調査も行いました。釣獲調査は両根で竿3本を使い、2時間かけて行いましたが、ホッケは9個体、キツネメバル2個体、ニジカジカ8個体、アカガヤ6個体と大変少ない量でした（表1）。釣れたホッケの体長は248～276mm、平均で265mmでした（表2）。
- 推定された魚群量は昨年よりも大きく減少したこと、ホッケもほとんど採集されなかったことなどから、今年のこの時期の仙法志堆海域におけるホッケの分布量は非常に少なかったと考えられます。水産試験場では今後も各漁場におけるホッケ漁の状況を注視していきます。

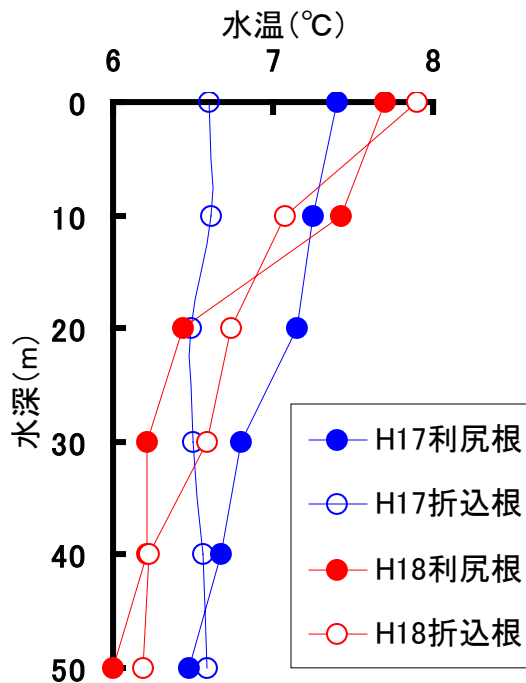


図1. 調査海域における水温

表1 釣りによって採集された魚種と個体数

場所	魚種	個体数
折込根	ホッケ	7
	アカガヤ	6
	ニジカジカ	8
利尻根	ホッケ	2
	キツネメバル	2
	ニジカジカ	8

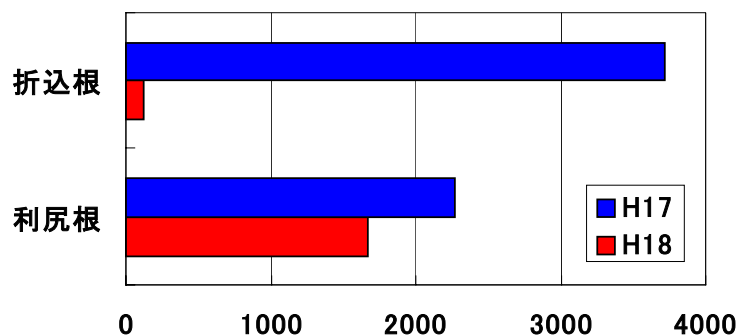


図2. 計量魚探で推定された魚群量

* 魚群量指数: 魚の総量を魚探反応を基準にして表した数値です。

表2 釣りによって採集されたホッケの体長

場所	雌雄	体長(mm)
折込根	♂	276
	♂	270
	♂	268
	♀	276
	♂	264
	♂	258
	♂	248
利尻根	♂	266
	♂	264
平均		265